

平成26年度

相模原市中沢財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見書

相模原市監査委員

平成27年8月7日

相模原市中沢財産区管理者
相模原市長 加山 俊夫 殿

相模原市監査委員 八 木 智 明

同 坪 井 廣 行

同 米 山 定 克

同 小野沢 耕 一

平成26年度相模原市中沢財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見について（提出）

地方自治法(昭和22年法律第67号)第233条第2項の規定に基づき、審査に付された平成26年度相模原市中沢財産区特別会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類を審査したので、次のとおり意見を提出する。

以 上

平成26年度相模原市中沢財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

目 次

I	審査の対象	1
II	審査の期間	1
III	審査の方法	1
IV	審査の結果	1
V	審査の意見	1
VI	審査の内容	2
1	決算の概要	2
(1)	歳入	2
(2)	歳出	5
2	実質収支に関する調書	7
3	財産に関する調書	7

- (注)
- 1 文中に用いた金額及び面積は、単位未満は切り捨てた。
 - 2 比率は、原則小数点第2位を四捨五入した。このため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。
 - 3 各表中の符号の用法は次のとおりである。
 - 「0.0」…… 該当数値はあるが単位未満のもの
 - 「100.0」…… 単位未満を四捨五入したもの
 - 「△」…… 収支不足額を示し、又は増減では減を示すもの
 - 「-」…… 算出不能、該当数値のないものなど

I 審査の対象

- (1) 中沢財産区特別会計歳入歳出決算
- (2) 中沢財産区特別会計歳入歳出決算事項別明細書
- (3) 中沢財産区特別会計実質収支に関する調書
- (4) 財産に関する調書

II 審査の期間

平成27年7月6日から平成27年8月5日まで

III 審査の方法

審査に当たっては、中沢財産区特別会計の歳入歳出決算書、同歳入歳出決算事項別明細書、同実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、それぞれが関係法令に準拠して調製されているか、決算の計数に誤りはないか、予算は適正かつ効率的に執行されているかなどを主眼として、関係諸帳簿及び証拠書類との照合等通常実施すべき審査手続により実施した。

IV 審査の結果

審査に付された中沢財産区特別会計の歳入歳出決算書、同歳入歳出決算事項別明細書、同実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも法令に規定された様式により作成されており、記載金額等は歳入簿、歳出簿、証書類、財産台帳等と符合し、計数は正確であると認められた。

中沢財産区特別会計の決算内容及び予算の執行状況等については、おおむね適正であると認められた。

決算の概要等については、審査の内容に記述するとおりである。

V 審査の意見

相模原市基本構想では、基本目標の1つに「やすらぎと潤いがあふれる環境共生都市」を掲げているところである。

豊かな自然は、暮らしの中にやすらぎと潤いをもたらすものであり、財産区財産は、この一翼を担うものである。

こうしたことから、財産区においては公益的役割を踏まえつつ、財産区財政の健全な運営に引き続き努められるよう要望するものである。

VI 審査の内容

1 決算の概要

決算額は、歳入95万円、歳出69万円で、歳入歳出差引額は26万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源はないので、実質収支額も同額である。

決算額を前年度と比較すると、歳入は8万円(8.2%)、歳出は4万円(5.6%)の減少である。

決 算 の 状 況

(単位：円、%)

区 分	26 年 度	25 年 度	増 減 額	増 減 率
予 算 現 額	1,000,000	1,006,000	△ 6,000	△ 0.6
歳 入 決 算 額 A	958,073	1,043,359	△ 85,286	△ 8.2
歳 出 決 算 額 B	695,393	736,752	△ 41,359	△ 5.6
形 式 収 支 額 (A-B) C	262,680	306,607	△ 43,927	△ 14.3
翌年度へ繰り越すべき財源 D	0	0	0	—
実 質 収 支 額 (C-D) E	262,680	306,607	△ 43,927	△ 14.3
前 年 度 実 質 収 支 額 F	306,607	352,487	△ 45,880	△ 13.0
単 年 度 収 支 額 (E-F)	△ 43,927	△ 45,880	1,953	—

(1) 歳 入

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						$\frac{(C)}{(A)}$	$\frac{(C)}{(B)}$
26	1,000,000	958,073	958,073	0	0	95.8	100
25	1,006,000	1,043,359	1,043,359	0	0	103.7	100
増減	△ 6,000	△ 85,286	△ 85,286	0	0	△ 7.9	0
増減率	△ 0.6	△ 8.2	△ 8.2	—	—	—	—

歳入における決算の状況は、予算現額100万円に対し、調定額95万円で、その全額が収入済となっている。

前年度と比較すると、予算現額では6千円(0.6%)、調定額及び収入済額は8万円(8.2%)の減少となっている。

財源別対前年度比較

(単位：千円、%)

区 分	決 算 額		構 成 比 率	
	26年度	25年度	26年度	25年度
自 主 財 源	958	1,043	100	100
依 存 財 源	0	0	0	0
計	958	1,043	100	100

(注1) 本表は、地方財政状況調査の分類方法を準用した。

(注2) 単位未満は四捨五入している。

収入済額は、すべて自主財源である。

第10款 県支出金

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						$\frac{(C)}{(A)}$	$\frac{(C)}{(B)}$
26	1,000	0	0	0	0	0	—
25	1,000	0	0	0	0	0	—
増減	0	0	0	0	0	0	—

第15款 財産収入

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						$\frac{(C)}{(A)}$	$\frac{(C)}{(B)}$
26	348,000	331,457	331,457	0	0	95.2	100
25	331,000	350,863	350,863	0	0	106.0	100
増減	17,000	△ 19,406	△ 19,406	0	0	△ 10.8	0

収入済額33万円は、主として水源林整備用地貸付料である。

第20款 繰入金

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						$\frac{(C)}{(A)}$	$\frac{(C)}{(B)}$
26	453,000	320,000	320,000	0	0	70.6	100
25	399,000	340,000	340,000	0	0	85.2	100
増減	54,000	△ 20,000	△ 20,000	0	0	△ 14.6	0

収入済額32万円は中沢財産区運営基金繰入金で、前年度と比較すると2万円(5.9%)の減少である。

第25款 繰越金

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						$\frac{(C)}{(A)}$	$\frac{(C)}{(B)}$
26	196,000	306,607	306,607	0	0	156.4	100
25	273,000	352,487	352,487	0	0	129.1	100
増減	△ 77,000	△ 45,880	△ 45,880	0	0	27.3	0

収入済額30万円は前年度剰余金で、前年度と比較すると4万円(13.0%)の減少である。

第30款 諸収入

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						$\frac{(C)}{(A)}$	$\frac{(C)}{(B)}$
26	2,000	9	9	0	0	0.5	100
25	2,000	9	9	0	0	0.5	100
増減	0	0	0	0	0	0	0

(2) 歳 出

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
26	1,000,000	695,393	0	304,607	69.5
25	1,006,000	736,752	0	269,248	73.2
増減	△ 6,000	△ 41,359	0	35,359	△ 3.7
増減率	△ 0.6	△ 5.6	—	13.1	—

歳出における決算の状況は、予算現額100万円に対し、支出済額69万円で、執行率は69.5%となっている。これらを前年度と比較すると、予算現額は6千円(0.6%)、支出済額は4万円(5.6%)の減少であり、執行率は3.7ポイント低下している。

不用額30万円は、予算現額の30.5%(前年度26.8%)である。

第5款 議会費

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
26	307,000	212,484	0	94,516	69.2
25	308,000	241,455	0	66,545	78.4
増減	△ 1,000	△ 28,971	0	27,971	△ 9.2

支出済額21万円は、主として議員報酬費である。

第10款 総務費

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
26	519,000	482,909	0	36,091	93.0
25	516,000	495,297	0	20,703	96.0
増減	3,000	△ 12,388	0	15,388	△ 3.0

支出済額48万円は、主として財産管理費、一般管理費及び造林振興事業費である。

第25款 予備費

(単位：円)

区分 年度	当 初 予 算 額	充 当 額	予 算 現 額	不 用 額
26	174,000	0	174,000	174,000
25	196,000	14,000	182,000	182,000
増減	△ 22,000	△ 14,000	△ 8,000	△ 8,000

2 実質収支に関する調書

実質収支に関する調書に記載されている中沢財産区特別会計の計数は、次のとおりである。

実 質 収 支 額

(単位：千円)

会計区分	歳入歳出 差引額	翌年度へ繰り越すべき財源			実質収支額
		継続費繰越額	繰越明許費繰越額	事故繰越し額	
中沢財産区特別会計	263	0	0	0	263

3 財産に関する調書

公有財産及び基金の異動状況は、次のとおりである。

財 産 の 状 況

区 分		単位	前年度末現在高	本年度中増減高	本年度末現在高
公有財産	土 地	m ²	198,601.00	0	198,601.00
	出 資 に よ る 権 利	円	210,000	0	210,000
基金	資基金積立金 中沢財産区運営基金	円	18,552,842	△ 280,955	18,271,887

(土地のうち山林の内訳)

区 分	面 積 (m ²)			立木の推定蓄積量 (m ³)		
	前年度末現在高	本年度中増減高	本年度末現在高	前年度末現在高	本年度中増減高	本年度末現在高
山 林	198,601.00	0	198,601.00	3,843.52	35.14	3,878.66

(1) 公有財産

ア 土地

土地の年度末現在高は198,601m²で、前年度と同じである。

立木の推定蓄積量の年度末現在高は3,878m³で、前年度と比較すると35m³増加している。

イ 出資による権利

出資による権利の年度末現在高は、津久井郡森林組合出資金21万円で前年度と同じである。

(2) 基金

基金の年度末現在高は1,827万円で、前年度と比較すると28万円減少している。